



LIXIL

サーモス
防火戸FG FIX窓(外押縁タイプ)

取付け説明書

●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。※ロットNo.は、ブランドラベルに表示しています。

■取付けされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

▲注意…取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲注意

- 防火戸FGの場合、複層ガラス・後付けビードは必ず指定のものを使用してください。指定部品を使用しない場合、所定の防火性能を満たしません。
- 本製品は、複層ガラスを使用するため、製品重量が最大130kgとなります。枠の垂れ下がり・ガラス落下防止のため、下記事項をお守りください。
 - ・必ず指定のスクリーナ釘で枠を固定してください。
 - ・必ず45×100mm以上の窓台(敷居)・30mm厚以上の間柱(ピッチ500mm以下)で開口部を作ってください。
 - ・開口部を付け枠等でふかす(調整する)場合は、一体物と同じ強度になるよう取付けてください。
 - ・ガラス入れ後、ガラスを外れにくくするため、外れ止めガラス本体を、必ず指定のねじで取付けてください。
- 漏水防止のため、下記事項をお守りください。
 - ・本製品取付け後、サッシ枠と躯体の取合わせ部に防水テープ(別売り)を張ってください。防水テープと枠との納まりについては、防水テープ取扱い説明書を参照してください。
 - ・枠の水平・垂直を正確に出して取付けてください。
 - ・浴室にご使用の場合は、必ず浴室防水部品セット(別売り)を使用してください。

お願い

●防火戸FGの場合、ガラス建込み時に室内側から見て防火ラベルがガラスの右上にくるように配置してください。

■取付け上のおお願い

- 反り防止のため、樹脂面を直射日光に当てた状態で放置しないでください。
- 樹脂は割れたり傷ついたりしやすいため、ぶついたりこすったりしないでください。
- 組立ての際は、樹脂面をハンマーで直接たたかないでください。樹脂が割れるおそれがあります。
- テラス納まりの場合、床のフロアラインは必ず土台(下枠取付け位置)から37.5±1mmにしてください。(204単純段差の場合は27.5mm)アングルと床にすき間ができたり、アングルが取付かないおそれがあります。

●躯体に固定する際に、サッシ枠が下記の寸法以下になっているかを確認して取付けてください。

<p>■サッシ枠のフレ・ツツミ</p> <table border="1"> <tr> <td>L2-L1</td> <td>A</td> <td>L1-L2</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>1.5</td> <td>3</td> <td>1.5</td> </tr> </table>	L2-L1	A	L1-L2	B	3	1.5	3	1.5	<p>■サッシ枠対角差</p> <table border="1"> <tr> <td>C</td> </tr> <tr> <td>2</td> </tr> </table>	C	2	<p>■サッシ上下枠の内反り・外反り</p> <table border="1"> <tr> <td>L1-L2</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>2</td> </tr> </table>	L1-L2	D	3	2	<p>■サッシ枠のねじれ</p> <table border="1"> <tr> <td>E</td> </tr> <tr> <td>3</td> </tr> </table>	E	3	<p>■サッシ枠の室内外の反り</p> <table border="1"> <tr> <td>F</td> <td>H1</td> <td>H2</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> </table>	F	H1	H2	2	1	1
L2-L1	A	L1-L2	B																							
3	1.5	3	1.5																							
C																										
2																										
L1-L2	D																									
3	2																									
E																										
3																										
F	H1	H2																								
2	1	1																								

■取付けねじ・押縁・部品一覧表

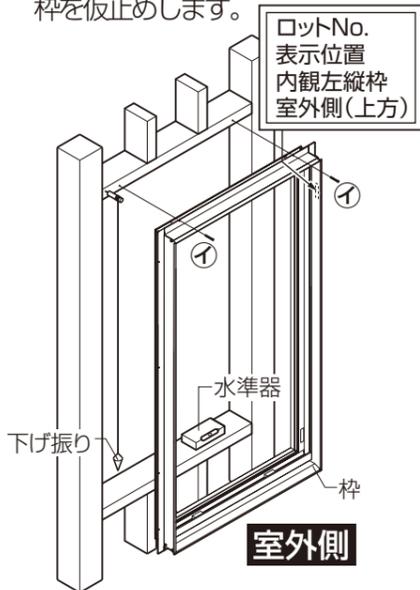
① スクリーナ釘 φ2.1×32	② 丸木ねじ φ3.5×25	③ 外れ止めガラス本体	④ ワンウェイねじ M4×12	⑤ なべタッピンねじ3種 M4×10	⑥ 外れ止めビード	押縁 上用/1本 縦用/2本
------------------------	----------------------	----------------	-----------------------	--------------------------	--------------	----------------------

※◎はサイズにより無い場合があります。

■取付け順序

1 枠の仮止め

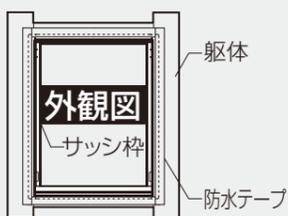
●開口部の水平・垂直を確認し、枠を仮止めします。



2 枠の調整と固定

●下げ振り・水準器で枠のねじれ・倒れ・ゆがみを直した後、固定します。
※釘を固定する際は、柱と縦枠および上下枠アルミフィンすき間に必ず適切な厚さの調整材を入れてください。縦枠および上下枠が外側にこぼれ、開閉不良など不具合が発生することがあります。

- ▲注意**
- 枠の水平・垂直を正確に出して取付けてください。
 - 本製品取付け後、サッシ枠と躯体の取合わせ部に防水テープ(別売り)を張ってください。

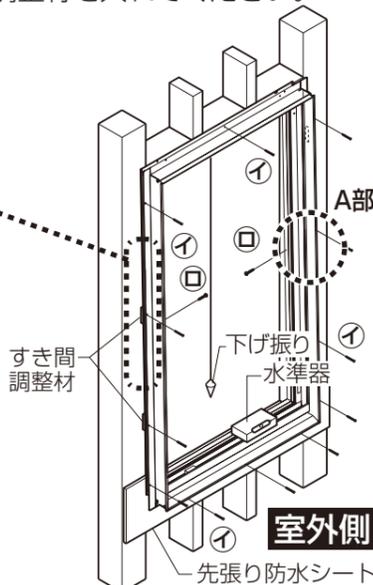


●お願い
※アルミフィンから調整材がはみ出さないように注意してください。



■A部詳細図

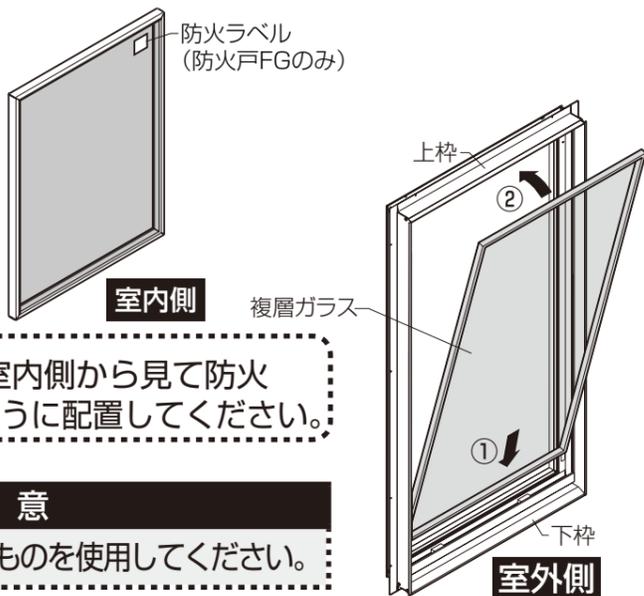
※枠と縦枠のすき間には、必ず適切な厚さの木片などのかい物を入れ、木ねじを適切なトルクにて締付けしてください。



■取付け順序

■3 ガラスの建込み

- 下枠→上枠の順にガラスを室外側からはめ込みます。
- ※防火戸FGの場合、ガラスは、防火ラベルが内観右上になるようにはめ込んでください。



お願い

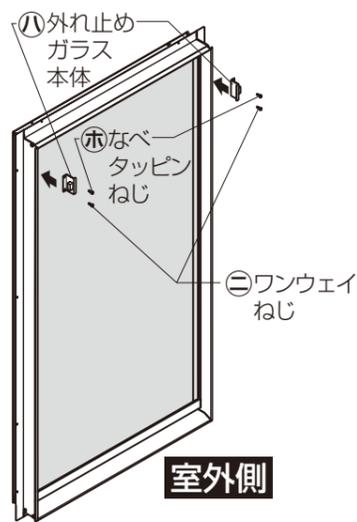
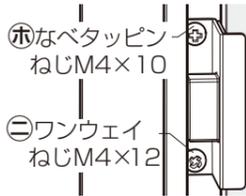
※防火戸FGの場合、室内側から見て防火ラベルが右上にくるように配置してください。

▲注意

- 複層ガラスは必ず指定のものを使用してください。

■4 外れ止めガラス本体の取付け

- 外れ止めガラス本体を取付け穴に合わせ、ねじ①②で固定します。
- ※ねじの種類と位置を間違えないようにしてください。
- ※ねじが固定しにくい場合は、ガラスを片側に寄せ、十分なクリアランスを確保して固定してください。ねじを固定した後は、ガラスを中央の位置に戻してください。
- ※ねじの固定、取外し時にドライバーとガラスが接触しないようにしてください。

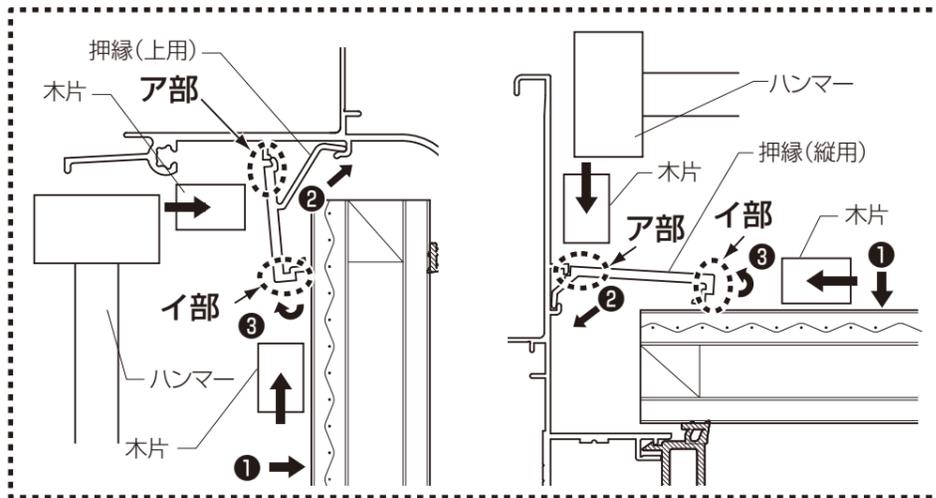
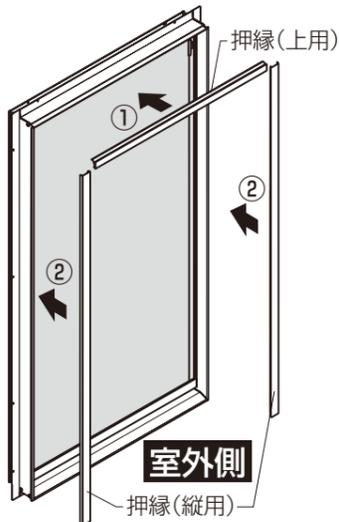


▲注意

- 必ず指定のねじで取付けてください。

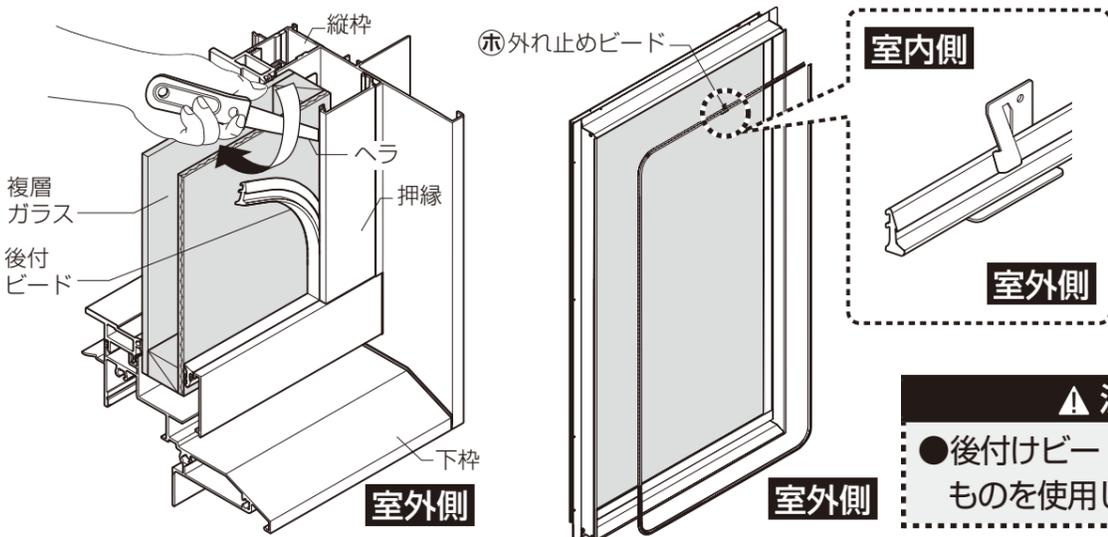
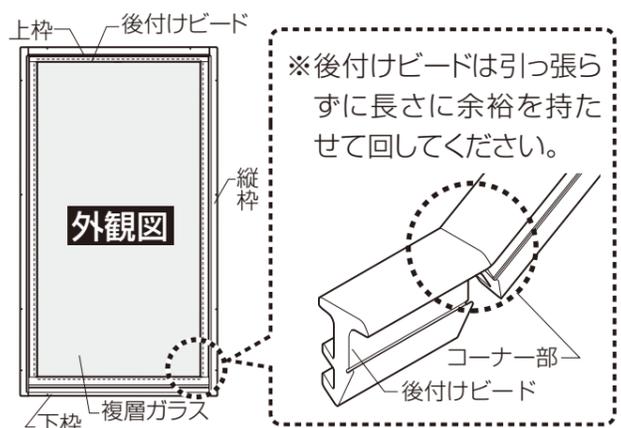
■5 押縁の取付け

- 上→縦の順に押縁を入れます。
- 樹脂形材の軟質部が潰れるよう、図の①のようにガラスを室内側に押し当てます。
- 図の②のように押縁の足部を枠の引っ掛け部に入れ、③のように回転させます。その際押縁が入り難い場合は、木片などで当て木をし、ハンマーなどで押縁のア部、イ部の順に叩いて、入れます。



■6 後付けビード及び外れ止めビードの取付け

- ①外れ止めビードに後付けビードを挿入し、外れ止めビードが上部中央にくるようにして四方に後付けビードを回します。
- ※後付けビードは、必ず上部のコーナーにつき目をもってきてください。
- ※後付けビードは引っ張らずに長さに余裕を持たせて回してください。目安として10mm/m長くしてください。
- ※ビードの押込みがきつい場合は、後付けビードを100mm程度に切断して上・縦の3方に入れ、押縁とガラスのクリアランスを確保してから押込んでください。またヘラなどを押縁とガラスのクリアランスに入れ、軽くひねるなど、クリアランスを広げると後付けビードが入れやすくなります。その際、ヘラの先端でガラスのエッジをキズつけないようご注意ください。それでもきつい場合は、サーモスの場合、後付けビードC=2(別売り)をご使用ください。また、ビードの押込みがゆるい場合は、サーモスの場合、後付けビードC=4(別売り)をご使用ください。

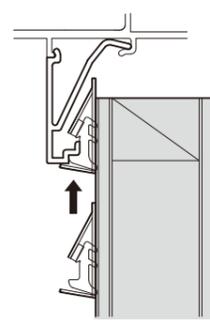


▲注意

- 後付けビードは必ず指定のものを使用してください。

■外れ止めビードの取付け

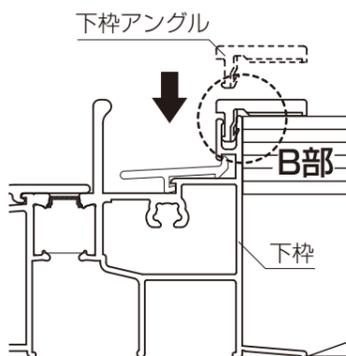
- ※カチッと音がするまで差込んでください。



■下枠アングルの取付け

■下枠アングルの取付け(テラスのみ)

- ※下枠アングルは、内装材施工後に取付けてください。
- ※下枠アングルの床の高さ違いの対応範囲は、上に2mm、下に1mmです。それ以上は対応できません。なお、上方向に調整時は、縦枠アングルの下部が内装材に干渉しますので、必要に応じて干渉部を切欠いてください。また、高さ調整機能はあくまで補助的な機能ですので、床の高さは確実に出してください。
- 下枠アングルがねじレスの場合
 - ①下枠アングル取付け部を必ず清掃し、汚れ(泥・砂)・ホコリ・油などを取ってください。
 - ※取付け部に汚れ(泥・砂)・ホコリ・油などが付着していると、両面テープの接着力が低下し、はずれの原因になるおそれがあります。
 - ②リケイ紙をはがし、下枠アングル端部を縦枠アングルに合わせ、下枠溝部にはめ込みます。
 - ※張直しをしないでください。接着力が低下し、はずれの原因になるおそれがあります。
 - ③内装材に強く押付けて圧着します。



■B部詳細図

